

# 「近大発・川俣ものづくりプロジェクト」

“オール近大”川俣町復興支援プロジェクトとは、14学部48学科を擁する総合大学としての研究力を生かし、近畿大学の総力を挙げて川俣町の早期復興を支援するために2012年に立ち上げたプロジェクト。「マイナスからゼロへ」という被災からの再生支援と「ゼロからプラスへ」という復興支援を2本の柱とし、川俣町民の意見を取り入れつつ、教員および学生から提案された復興支援策を実行している。

復興支援策の一つである「近大発・川俣ものづくりプロジェクト」では、近大ものづくり工房が主体となり編成した『川俣ものづくり探検隊』が川俣町および地元企業を訪問し、町役場や企業の方々と直接意見交換を行い、震災による影響や現在抱えている課題について理解を深め、川俣高校等と連携したモノづくり支援の課題を解決する。

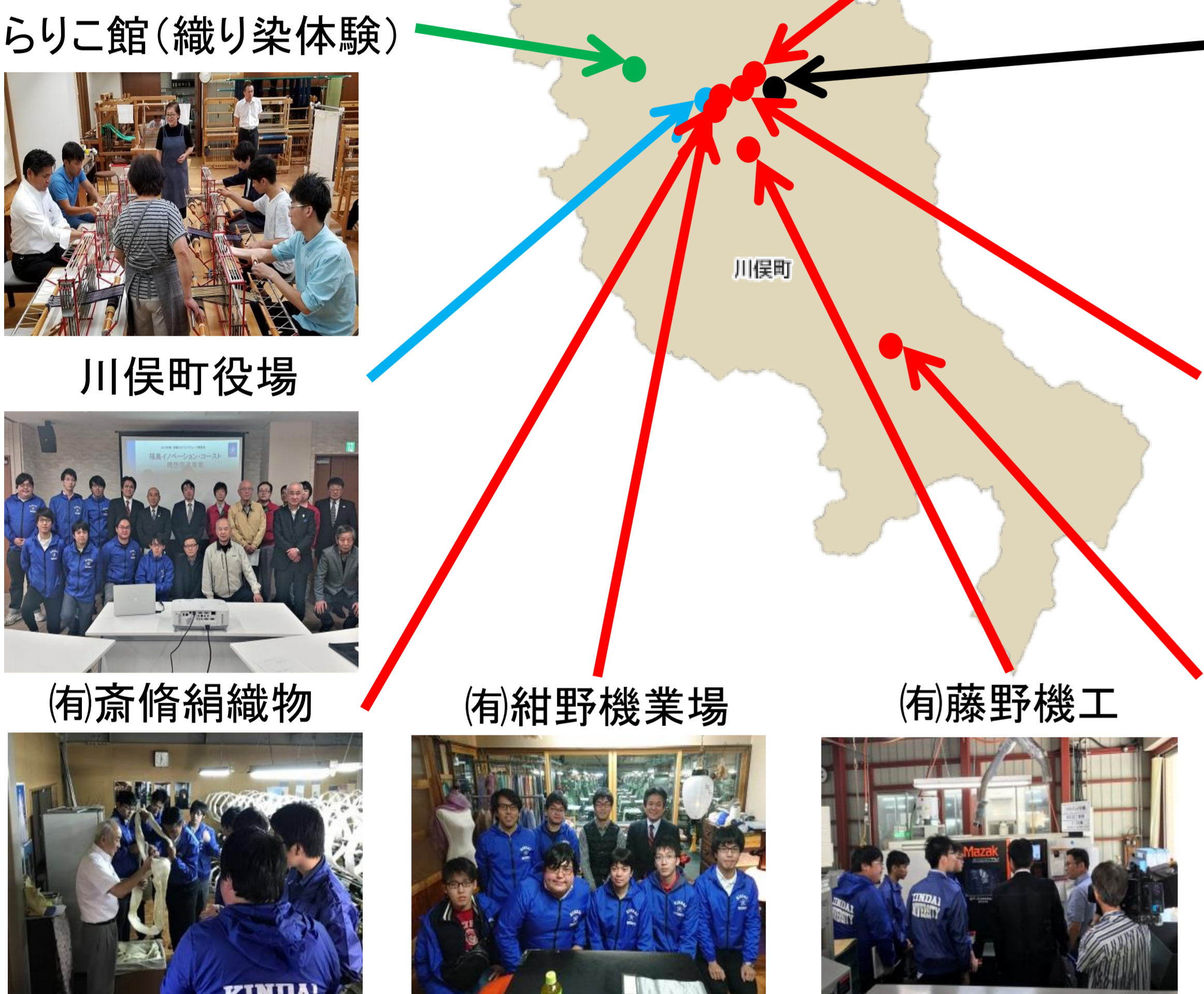


## これまでの活動実績



『川俣ものづくり探検隊』が川俣町役場・地域企業を訪問・意見交換  
(2018.08.16-20.12.25-26)

川俣町役場・地域企業が東大阪のものづくり拠点を訪問・意見交換  
(2019.07.25-26)



## 近大ものづくり工房

技術サポート 人材交流

川俣町内企業

川俣高校機械科

学生インターンの受入



## 川俣ものづくり工房の創設

- 川俣高校機械科と近畿大学機械工学科の学生間交流の促進
- ものづくり環境の整備
- ものづくり企業との連携・交流を深める

## 次世代ものづくり体験フェスタの開催

- ものづくり企業の製品展示
- 近畿大学や川俣高校機械科の製品展示
- モノづくり体験

・モノづくり人材の育成 ・明確な産業目標の設定 ・雇用の創出

モノづくりの観点から再生および復興を遂げた“モノづくり都市川俣”へ